

TPM-R

DIAGNOSTIC AND MAINTENANCE TOOL

-取扱説明書-

安全にお使いいただくために



重要

本製品をより効率的にお使いいただくために、取扱説明書の内容についてよくご理解してください。

この取扱説明書は、本製品の基本操作を説明するもので、故障を修理する方法を記載したものではありません。本製品は診断テストや車両故障のおおよその箇所の発見に使用するためのもので、車両の診断を行う際に使用者は、サービス（保守整備）マニュアルと最新の保守整備用公示資料も参照していただくようお願いいたします。

修理に関しては、製造元車両サービスマニュアルまたは他の故障修理の出版物でお確かめ下さい。



注意

本製品を十分に活用していただくためには、車両コンピュータコントロールシステムを熟知されている必要があります。

本製品を使用する際に修理書を参照せず、無理な使用方法で車両を破損させた場合、本製品の正しい使用方法以外で発生した損害については、一切の責任を負いかねます。

人的な傷害を未然に防ぐために、必ずパーキング・ブレーキを確実にかけ、また車輪止めを行い、車両の点検・修理を行ってください。

車庫などの周囲が囲まれている空間でエンジンを作動させたまま点検を行う際には、必ず十分な換気を行ってください。排気ガス中には意識不明状態や死亡に至らせる恐れのある無色無臭で非常に危険な一酸化炭素が含まれておりますので、排気ガスは絶対に吸い込まないようにしてください。

診断ケーブルを車両に接続するときは、車両のイグニッションスイッチが OFF の位置にあることを必ず確認してください。イグニッションスイッチが ON の位置で接続すると、TPM-R の本体やプログラムを破壊する場合があります。

車両の診断コネクタにケーブルがしっかりと接続されていることを確かめてから、本製品をお使いください。

運転者は、運転中に本製品を操作しないでください。電源電圧は DC10V 以上 32V 以下でお使いください。



禁止事項

ぬれた手で、本製品にふれないでください。

本体およびケーブル等を水に濡らしたり、衝撃等を与えないでください。

本体およびケーブル、アダプター等の金属端子部に直接手を触れないでください。汚れによる接触不良や静電気による破壊等が発生する場合があります。

車種によってサービスデータが有効ではない場合は車両システムの変更による可能性があります。

本製品を分解・改造しないでください。

本体のSDカードスロットやコネクタ部に異物を入れないでください。

本製品を直射日光があたる場所や高温になる場所または、炎天下の車室内に放置しないでください。

SDカードを脱着する際は、必ず車両診断コネクタから診断ケーブルを外した状態でおこなってください。

本製品に別の製品のケーブルを使用しないでください。



アドバイス

本機を使用し、何度診断を試みても診断ができない場合は、診断コネクタの接触不良および断線等が考えられますのでご確認ください。また、サポートされていない車両の可能性もあります。

車両側の故障診断機能の対応によってはデータ表示の内容が正しくない場合があります。

目次

1.ご使用の前に	4
1-1 製品の構成.....	4
1-2 各部の名称.....	5
1-3 ユーザー登録.....	6
1-4 ユーザー登録内容の変更.....	13
1-5 取扱説明書のダウンロード/閲覧.....	14
2.基本的な操作	15
2-1 操作パネルの説明.....	15
2-2 診断の準備.....	16
2-3 診断するメーカーの選択.....	18
2-4 作業内容の選択.....	19
2-5 故障コードの読取り方法.....	20
2-6 故障コードの消去方法.....	25
2-7 データモニタの表示方法.....	27
2-8 印刷方法.....	28
2-9 印刷オプション（会社名等の印刷）.....	31
2-10 保存について.....	32
2-11 作業サポート.....	33
3.初期設定	34
3-1 言語の設定.....	34
3-2 コントラストの調整方法.....	35
3-3 時計の調整方法.....	36
3-4 本体 ID の確認方法.....	37
4.診断ソフトのバージョンアップ方法	38
4-1 「TPM-R アップデートプログラム」の起動.....	38
4-2 アップデート方法.....	38
4-3 アップデート案内.....	40
5.トラブルシューティング	41
5-1 SD カードについて.....	41
6.製品仕様	49
7.保証	49
7-1 保証期間.....	49
7-2 保証の延長.....	49
8.お問い合わせ先	49

1.ご使用の前に

1-1 製品の構成

標準構成	
本体	1
SD カード	1
SD カードリーダー	1
Bluetooth アダプター	1
OBD II タイプ B ケーブル	1
シガライターケーブル (※1)	1
クイックスタートガイド	1

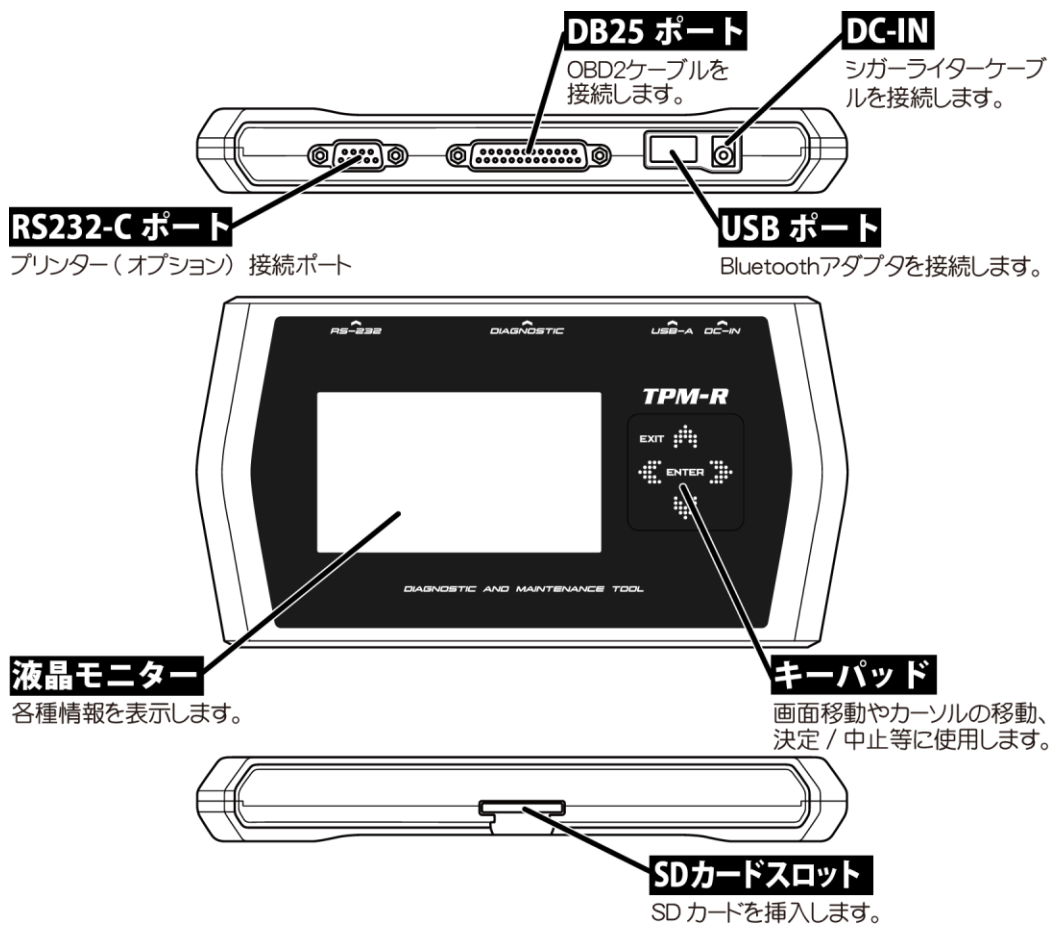
オプション Bluetooth プリンター構成	
プリンター本体 (バッテリー内蔵)	1
充電用 AC アダプター	1
ロール紙 (本体にセット済み)	1
ベルトフック	1
取扱説明書	1

※1：診断コネクタから本体に電源が供給されない車両では「シガライターケーブル」を本体へ接続し車両のシガライターソケットから電源を供給してください。(いすゞ・エルフ、三菱ふそう・キャンターなどで使用します)

本体仕様	
本体寸法	215(W) x 115(H) x 28(D) mm
本体重量	366g
電源電圧	7-35VDC
仕様温湿度範囲	0±40℃ (15-95%)
保存温湿度範囲	-20±50℃ (15-90%)
CPU	ARM Cortex M3 (120Mhz)
ROM (OS)	512KB
ROM (AP)	4GB(SD カード)
RAM	64MB
外部デバイス	SD カードスロット
PC 用 I/F	USB2.0 (Host) 、RS232C シリアルポート
標準 I/F	CAN(ISO-11898, ISO-11519, SAE-J2411), K-Line / L-Line(ISO-9141, ISO-9141-CARB, KWP2000, SAE-J1850, SAE-J1708), Generic(Pull-up/Pull-down UARTx2) DDL, MMC
LCD	4.3 インチ WQVGA(480 RGBx272 Pixels)TFT カラー液晶
OS	FreeRTOS
操作キー	ENTER,EXIT,↑,↓,←,→

対応車種	
日本車	国産車 8 メーカー 16ピン台形コネクタ採用車 (平成 12 年前後以降の車両が目安)
米国車	OBD II 規格車 (1996 年以降)
欧州車	E-OBD 規格車
米国車・欧州車の診断対象は P コード (パワートレイン) のみ	

1-2 各部の名称



1-3 ユーザー登録

TPM-R はご購入時に診断ソフトがインストールされていません。
ご使用前に必ずユーザー登録を行った上で、最新ソフトへアップデートを行ってください。

ユーザー登録方法

ユーザー登録には「TPM-R アップデート」プログラムを使用して行います。このプログラムを実行するにあたり、以下の環境が必要になりますので、予めご用意いただいてから行ってください。

- | | |
|---|---|
| 1 | パソコン (Windows XP 以降の OS がインストールされているもの) |
| 2 | インターネット接続 |
| 3 | メールアドレス |
| 4 | SD カード (付属) |
| 5 | USB カードリーダー (付属) |

1



ユーザー登録をする際にインターネットを使用しますが、セキュリティーソフトまたは、OS によって接続を遮断される場合があります。その場合は、セキュリティーソフトの設定や OS の設定を変更して頂く必要があります。

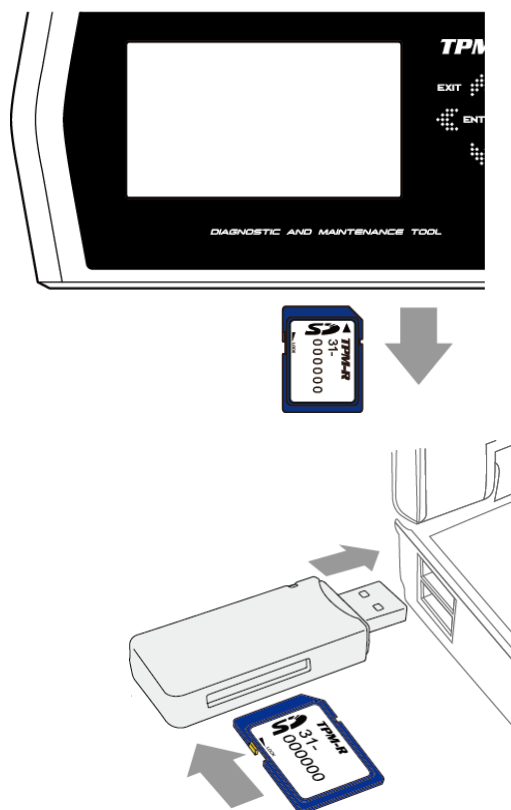
SD カードをパソコンに接続

SD カードを TPM-R から抜き取り、付属のカードリーダーでパソコンに接続します。
※ご購入時期によりカードリーダーが異なる場合があります。



パソコンに SD カードスロットが装備されている場合は、SD カードを直接パソコンに挿入して頂いてもかまいません。

1



1. ご使用前に

「TPM-R アップデート」プログラムの実行-Windows 7 の場合-

1

自動再生の設定が“ON”の状態の場合、ウィンドウが表示され、実行する動作の欄に「フォルダーを開いてファイルを表示」が表示されますので、クリックします。

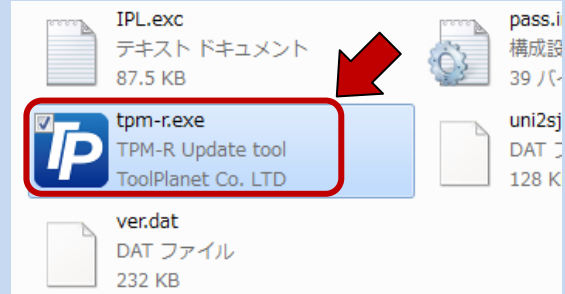
※右の画面が表示されない場合には本書の P10（自動再生が出来ない場合）をご参照ください。



2

ウィンドウが表示され、SD カードの内容が表示されますので、「tpm-r」(tpm-r.exe) をダブルクリックして起動します。

 11 ページへ進んでください。



「TPM-R アップデート」プログラムの実行-Windows 8/8.1 の場合-

1

自動再生の設定が“ON”の状態の場合、画面右上に通知が表示されますので、タップまたはクリックします。

※右の画面が表示されない場合には本書の P10（自動再生が出来ない場合）をご参照ください。




リムーバブルディスク (F:)
タップして、リムーバブルドライブ に対して行う操作を選んでください。

2

実行する操作の欄に「フォルダーを開いてファイルを表示」が表示されますので、タップまたはクリックします。

リムーバブル ディスク (F:)

リムーバブルドライブ に対して行う操作を選んでください。







-  バックアップ用にこのドライブを構成
ファイル履歴
-  フォルダーを開いてファイルを表示
エクスプローラー
-  何もしない

3

ウィンドウが表示され、SD カードの内容が表示されますので、「tpm-r」(tpm-r.exe) をダブルクリックして起動します。



11 ページへ進んでください。

 appdata.dat DAT ファイル 2.00 KB	 appdata.en ENG ファイル 1.50 KB
 common.ja JA ファイル 12.5 KB	 common.ru RU ファイル 16.0 KB
 tpm-r.exe TPM-R Update tool ToolPlanet Co. LTD	 uni2sjis.dat DAT ファイル 128 KB

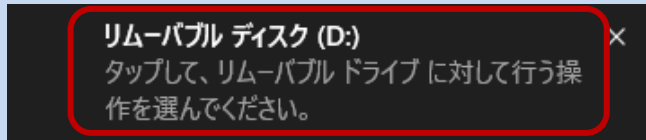
1. ご使用前に

「TPM-R アップデート」プログラムの実行-Windows 10 の場合-

1

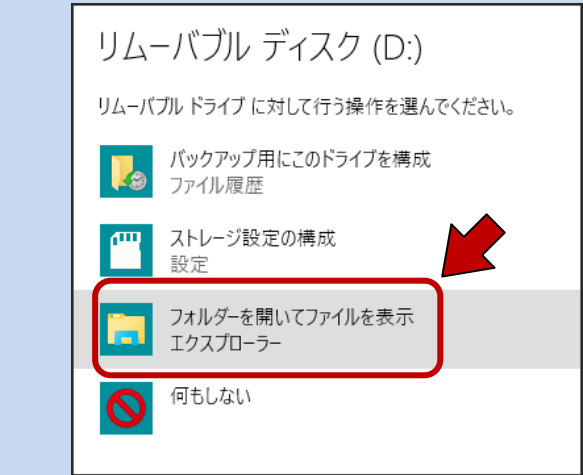
自動再生の設定が“ON”の状態の場合、画面右下に通知が表示されますので、タップまたはクリックします。

※右の画面が表示されない場合には本書の P10 (自動再生が出来ない場合) をご参照ください。



2

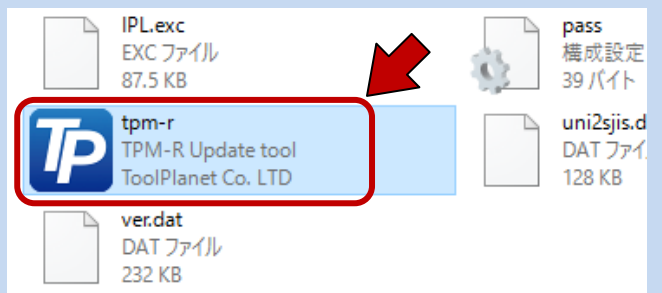
実行する操作の欄に「フォルダーを開いてファイルを表示」が表示されますので、タップまたはクリックします。



3

ウィンドウが表示され、SD カードの内容が表示されますので、「tpm-r」(tpm-r.exe) をダブルクリックして起動します。

 11 ページへ進んでください。




自動再生が出来ない場合

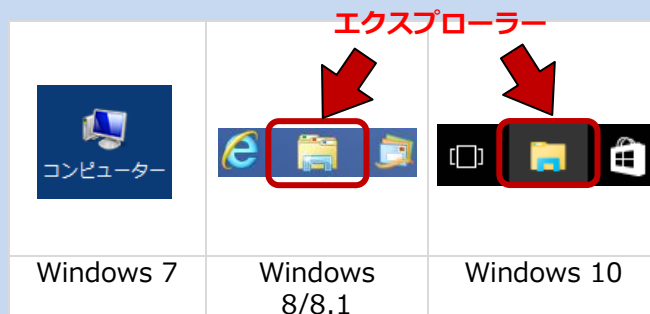
1

パソコンの設定で自動再生が機能していない場合は、手動でパソコンのドライブを開き「tpm-r.exe」を実行する必要があります。

デスクトップ上のコンピューター（OSにより名称は異なります）をダブルクリックします。または、「スタート」→「コンピューター」をクリックします。

Windows 8/8.1 および Windows 10 をご使用の場合は、画面下のツールバーから「エクスプローラー」をタップまたはクリックします。

または、スタートボタン（) を右クリック→「エクスプローラー」をタップまたはクリックします。

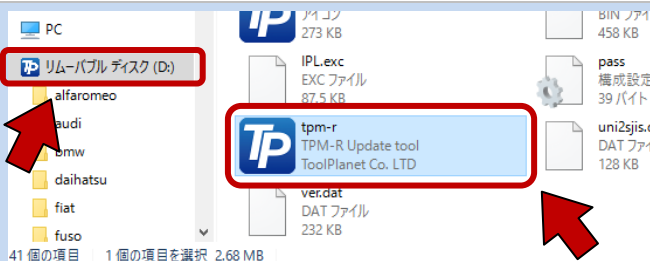


2

「リムーバブルディスク」をクリックして「tpm-r」のアプリケーションをダブルクリックして起動します。



11 ページへ進んでください。



1. ご使用前に

「TPM-R アップデート」が起動します。

この時点で「本体シリアル NO」と「パスワード」は表示されます。この状態で、[登録内容変更]ボタンをクリックします。

エラー：「ユーザー登録」画面が表示しない

1

・[登録内容変更]ボタンをクリックしても登録画面が表示されない場合は、[アップデートチェック]ボタンをクリックしてください。

TPM-R アップデート

診断ソフトウェアダウンロード: []

本体シリアルNO: 31-000000

パスワード: []

アップデートチェック

アップデート案内

登録内容変更

取扱説明書

終了

「プライバシー・ポリシー」（個人情報保護方針）が表示されます。記載内容をよくご理解いただき、同意頂ける場合は同意ボタンをクリックしてください。

※同意頂けない場合はユーザー登録が行えない為、TPM-R をご使用できません。

2

ユーザー登録につきまして

ユーザー登録をされる前に、下記「プライバシー・ポリシー（個人情報保護方針）」をよくお読みください。「同意する」ボタンをクリックすると、本規約の全ての条件に同意したことになります。

この度は故障診断機をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。故障診断機を使用するにはユーザー登録が必要となります。ユーザー登録の際にお客様（法人）のお名前/会社名/電話番号/ファックス/代理店名（商品を購入）/メールアドレス/ご住所を記入頂きます。ユーザー登録により本体保障が発生致します。

当社は、以下のとおり個人情報保護方針を定め、個人情報保護の仕組みを構築し、全従業員に個人情報保護の重要性の認識と取組みを徹底させることにより、個人情報の保護を推進致します。

個人情報の管理
当社は、お客様の個人情報を正確かつ最新の状態に保ち、個人情報への不正アクセス・紛失・滅損・改ざん・漏洩などを防止するため、セキュリティシステムの維持・管理体制の整備・社員教育の徹底等の必要な措置を講じ、安全対策を実施し個人情報の厳重な管理を行います。

同意する 同意しない

ユーザー登録画面が表示されます。空欄にお名前、会社名など全ての項目を入力して[送信]ボタンをクリックします。

※メールアドレスを間違えると認証確認メールがお客様の元に届きませんので、間違えないようにしてください。

3



入力欄は必ず全て入力してください。未入力欄があると送信できません。

本書の最終ページに Memo 欄があります。今後の年間更新時などにユーザー登録内容が必要になりますので、登録した内容を書き留めておいて下さい。

ユーザー登録

お名前: ○○ △△ 電話: XXX-XXX-XXXX

会社名: ○○自動車 ファックス: XXX-XXX-XXXX

購入店名: ○○商会 メールアドレス: ○○@○○.○○.○○

住所: 〒 1234567

○ ○ 県 ○ ○ 市 ○ ○ 町

○ 町 目 ○ ○ 番 地

送信 中止

認証確認メールをチェックします。

1

メールソフトを起動してメールをチェックしてください。
登録されたメールアドレスへ「認証確認メール」（登録受付メール）が届きます。
このメールを開いて、下線の引いてある場所をクリックします。

エラー：メールが届かない

- ・メールアドレスの間違いや「迷惑メールフォルダ」などを確認してください。
- ・混雑状況により、メールの配信に時間がかかる場合があります。

登録認証確認

下記リンクをクリックすると認証が完了します。

<http://www.scantool.jp/script/confirm.php?passkey=33>



2

クリックすると標準で使用しているブラウザが起動して、認証確認のメッセージが表示されます。

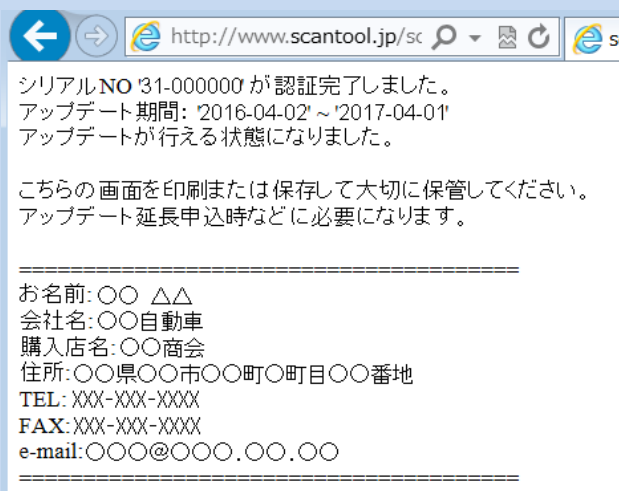
これで認証作業が終了し、アップデートが可能になりました。



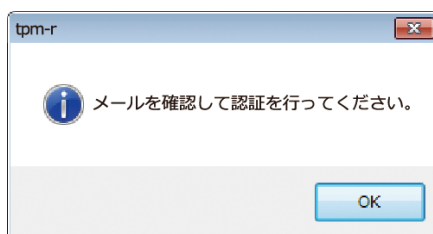
認証完了画面を印刷または保存して大切に保管してください。
アップデート延長申込時にご登録情報が必要になります。

エラー：アップデート期間が表示されない

- ・「登録受付メール」をもう一度確認してください。
ユーザー登録で送信した回数分「登録受付メール」が配信されますので、最新の「登録受付メール」のリンクをクリックして下さい。
- ・メールをブラウザでご覧になった場合は、うまく表示できない場合があります。その場合はメールソフトなどでメールを確認してリンクをクリックしてください。



この認証作業を行わずに「アップデートチェック」を行うと、以下のメッセージが表示されます。
メールを確認して認証を行って下さい。



1-4 ユーザー登録内容の変更

ユーザー登録内容の変更は、使用者（会社）やメールアドレスに変更がある場合に行ってください。

登録内容変更は、最初のユーザー登録と同じ手順で行います。
本書のP6（1-3 ユーザー登録）からを参考に認証確認まで行ってください。



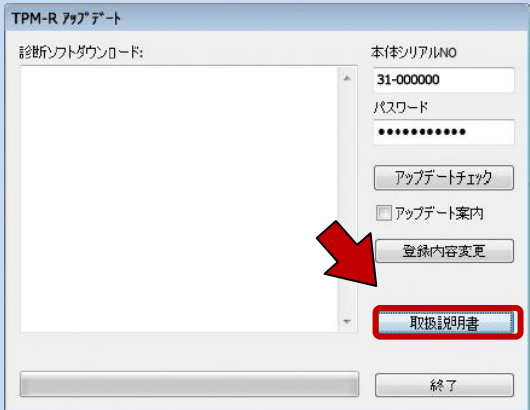

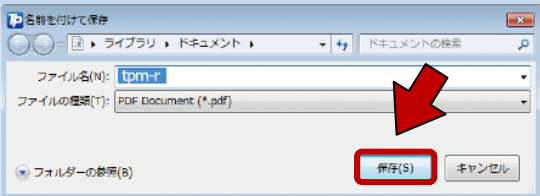
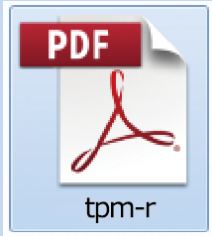
変更があった欄だけでなく、入力欄は必ず全て入力してください。
未入力欄がありますと送信できません。

本書の最終ページに Memo 欄があります。
今後の年間更新時などにユーザー登録内容が必要になりますので、登録した内容を書き留めておいて下さい。



※未記入欄がある場合、送信ができず上のようなメッセージが表示されます。

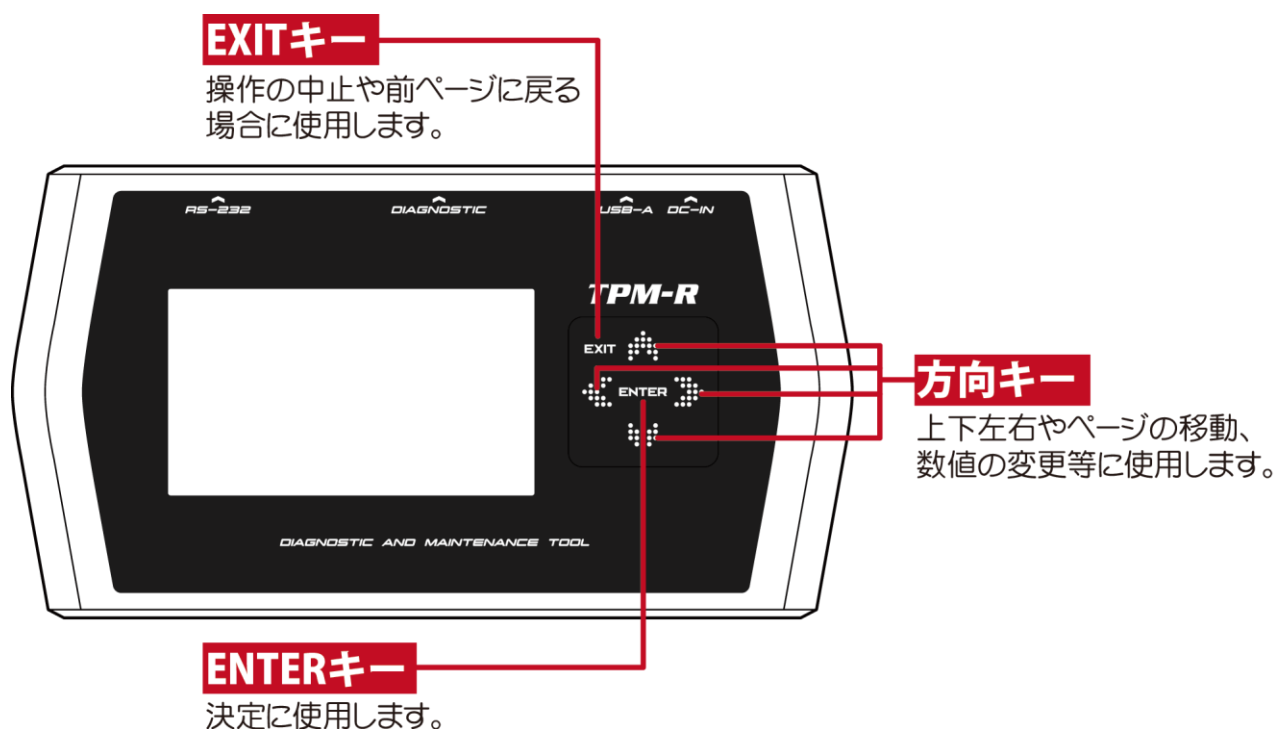
1-5 取扱説明書のダウンロード/閲覧

<p>1 取扱説明書は、ダウンロード形式でご覧いただけます。 取扱説明書は、PDF ファイルとなっています。ご覧になるには、Adobe(R)Reader(R)が必要です。</p> <p>TPM-R アップデート画面で[取扱説明書]をクリックします。</p>	
<p>2 ダウンロードが開始されます。</p>	
<p>3 ダウンロードが完了すると保存場所を聞いてきますので、任意の場所へ保存してください。</p> <p>エラー：保存できない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保存場所を変えて試してみてください。 例：SD カード内など 	
<p>4 保存した場所を確認して取扱説明書をご覧いただけます。</p>	

2.基本的な操作

※診断メニューにはトヨタを例に説明しています。
※診断はイグニッション ON の状態で行って下さい。

2-1 操作パネルの説明



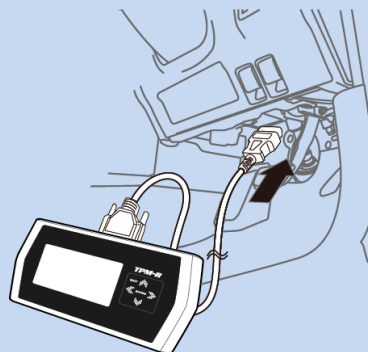
2-2 診断の準備

TPM-R と診断ケーブルを接続し、車両の診断コネクタに接続します。
 ※診断コネクタの位置は車両により異なります。

車両との接続

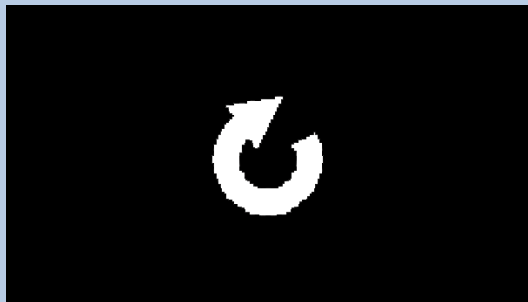
1

車両に診断ケーブルを接続しますと、TPM-R の電源が入り初期画面が表示されます。
 イグニッションキーを ON にします。
 (一部、診断コネクタから TPM-R に電源が供給されない車両の場合は、付属のシガライターケーブルを使用して電源を供給してください)



2

TPM-R 本体に電源が入ると、本体の SD カードを読み込みます。



エラー：TPM-R メニューが表示されない

電源が入り "X マーク" と "読み込みマーク" が交互に表示される場合は SD カードの読み込み不良が考えられます。

以下のことを確認してください。

- ・ SD カードが本体に正しく挿入されているか
- ・ SD カードのシリアル番号と本体のシリアル番号が一致しているか
- ・ SD カード内が空になっていないか

以上を確認して問題がない場合は一度アップデートを行っていただく事により正常になる場合があります。
 本書の P38「4-1 TPM-R アップデートプログラムの起動」をご参照ください。



2. 基本的な操作

3

TPM-R のロゴが表示され、SD カードが認識されました。
この後、「TPM-R メニュー」が表示されます。



4

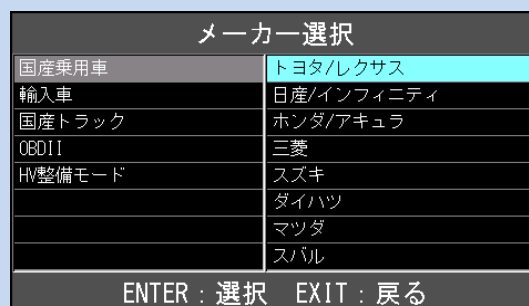
TPM-R メニューが表示されます。



2-3 診断するメーカーの選択

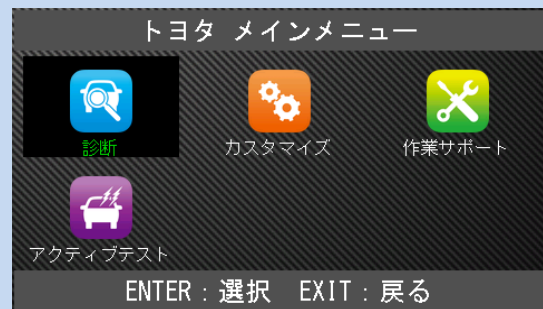
TPM-R メニューの「診断」を選択して[ENTER]ボタンを押します。

メーカー選択画面が表示されますので、選択して[ENTER] ボタンを押します。



2-4 作業内容の選択

接続した車両に対して行う作業を選択し、[ENTER] ボタンを押します。(メーカーにより、メニューは異なります。ここでは「トヨタ診断ソフト」を選択しています。



各メニューの説明

診断

車両の故障診断を行います。
メーター内インジケータの点灯や故障が考えられる場合に選択します。

「2-5 故障コードの読取り方法」(P20) と「2-6 故障コードの消去方法」(P25) を参照してください。



カスタマイズ

車両の設定を変更する場合に使用します。

※車両により設定できる項目は違います。



作業サポート

初期化や学習を行います。



アクティブテスト

アクチュエータ等を強制的に作動・停止させ、動作確認を行います。



2-5 故障コードの読取り方法

個別自己診断

1	「診断」を選択して[ENTER]ボタンを押します。	 <p>トヨタ メインメニュー</p> <p>診断 カスタマイズ 作業サポート</p> <p>アクティブテスト</p> <p>ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p>
2	個別に故障コードを読み取る場合は[上下]ボタンで診断システムを選択して[ENTER]ボタンを押します。	 <p>システム選択</p> <p>エンジン ABS/VSC エアバッグ 全自己診断</p> <p>ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p>
3	「故障コードの読取」を選択して[ENTER]ボタンを押します。	 <p>エンジン</p> <p>故障コードの読取 故障コードの消去 データモニタ</p> <p>フリーズフレーム</p> <p>ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p>
4	システムの自己診断が始まります。	 <p>故障コードの読取</p> <p>自己診断中...</p>

2. 基本的な操作

5

選択したシステムの故障コードを読み取り、一覧で表示します。

左右キーで[現在故障]と[過去故障]の表示を切り替えることができます。

[表示説明例]

- ・現在故障 (10)
現在故障に 10 個の故障コードがメモリされています。
- ・過去故障 (5)
過去故障に 5 個の故障コードがメモリされています。

故障コードの読取	
現在故障 (10)	過去故障 (5)
P0010	WV OCV系統
P0102	エアフローセンサー (Low)
P0108	圧力センサー系統 (High)
P0113	吸気温度センサー系統 (High)
P0118	水温センサー系統 (High)
P0123	スロットルセンサー系統 (High)
P0343	WVセンサー系統 (High)

ENTER : 詳細 EXIT : 戻る

故障コードの読取	
現在故障 (10)	過去故障 (5)
P0010	WV OCV系統
P0102	エアフローセンサー (Low)
P0108	圧力センサー系統 (High)
P0113	吸気温度センサー系統 (High)
P0118	水温センサー系統 (High)

ENTER : 詳細 EXIT : 戻る

6

[ENTER]ボタンを押すと故障コードの詳細が表示されます。

ここで保存する場合は [データ保存] にカーソルを合わせて[ENTER]ボタンを押します。また、Bluetooth プリンターが接続されている場合は、[印刷] を選択して [ENTER] ボタンを押すと印刷されます。

Bluetooth プリンターの接続設定については本書 P28 を参照してください。

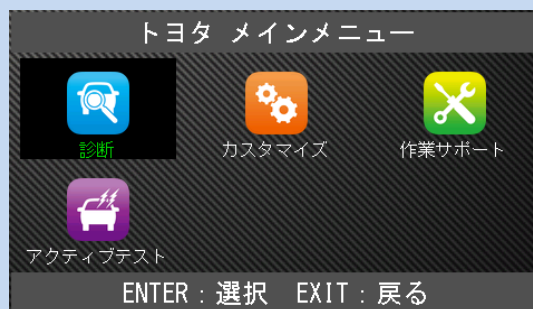
現在故障 (1/10)
P0010
WV OCV系統

データ保存 印刷 DTCヘルプ

全自己診断（車両に搭載されている各システムの故障コードを自動で読み取ります）

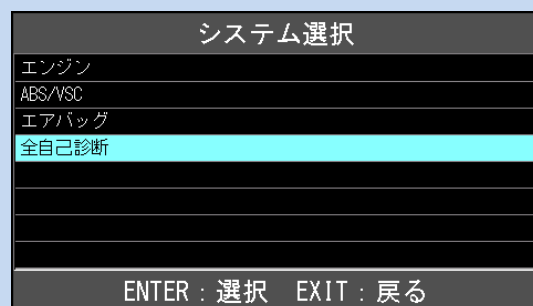
1

「診断」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



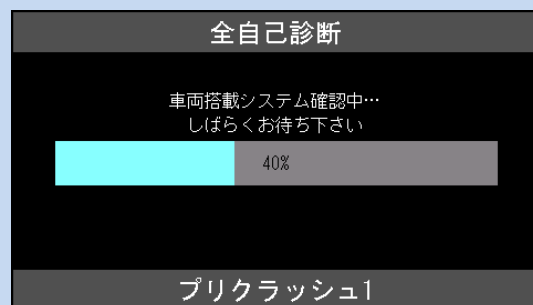
2

[全自己診断]を選択して[ENTER]ボタンを押します。



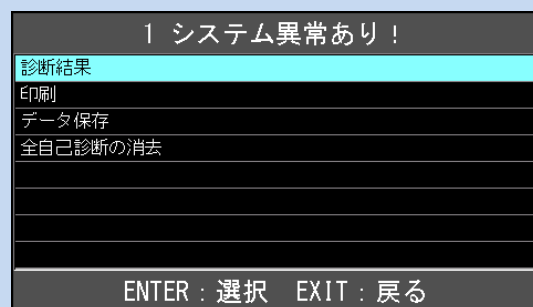
3

車両に搭載されている各システムの故障コードを自動で読み取っていきます。



4

システム異常の有無を画面上部に表示します。どのシステムに異常が発生しているのかを「診断結果」の項目から表示させます。



5

各システムの故障コードの状態を表示します。

[例]

- ・エンジン - 6 DTC
故障コードが 6 個メモリされています。
- ・HV - OK
故障コードはありません。



2. 基本的な操作

6

故障コードを確認したい場合は、目的のシステムにカーソルを移動させて[ENTER]ボタンを押します。



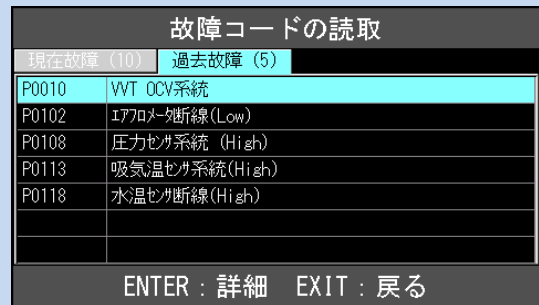
7

選択したシステムの故障コードを読み取り、一覧で表示します。

左右キーで[現在故障]と[過去故障]の表示を切り替えることができます。

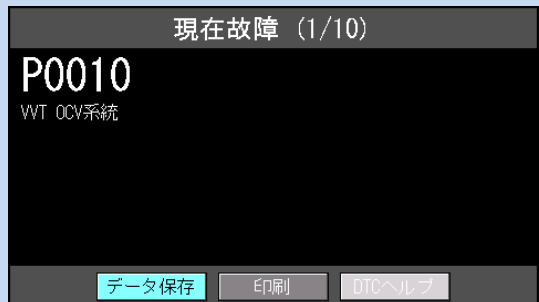
[表示説明例]

- ・現在故障 (10)
現在故障に 10 個の故障コードがメモリされています。
- ・過去故障 (5)
過去故障に 5 個の故障コードがメモリされています。



8

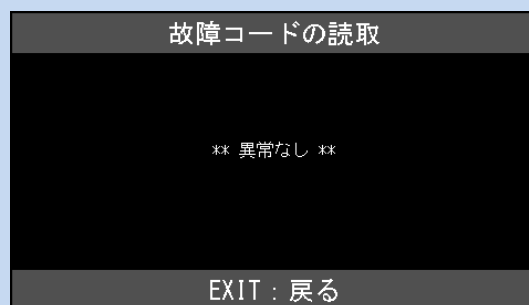
カーソルを移動して[ENTER]ボタンを押すと故障コードの詳細が表示されます。



個別自己診断/全自己診断共通表示

[異常なし]

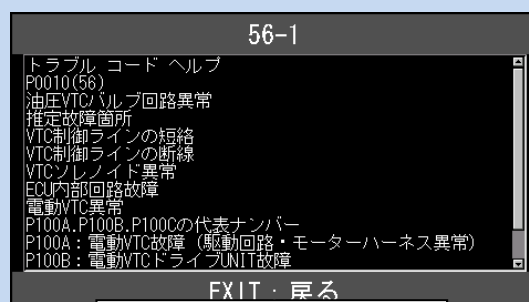
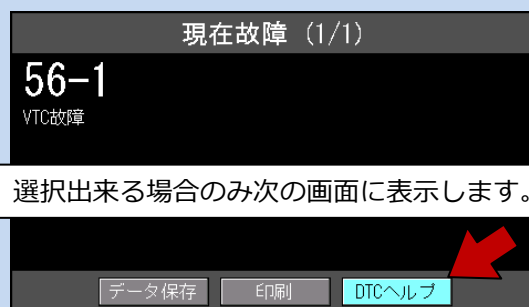
車両に故障コードがメモリされていない場合には、「異常なし」と表示されます。



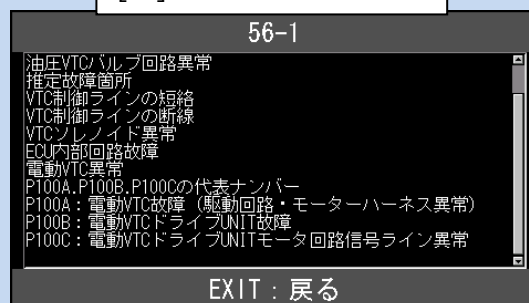
[DTC ヘルプ]

故障コードを表示した画面で[DTC ヘルプ]ボタンが表示されます。
 選択して[ENTER]ボタンを押すと故障コードに関するヘルプ情報が表示されます。

- ※[DTC ヘルプ]は順次更新いたします。
- ※[DTC ヘルプ]は選択できる場合だけ表示されます。



[例] ホンダソフトの場合



2-6 故障コードの消去方法

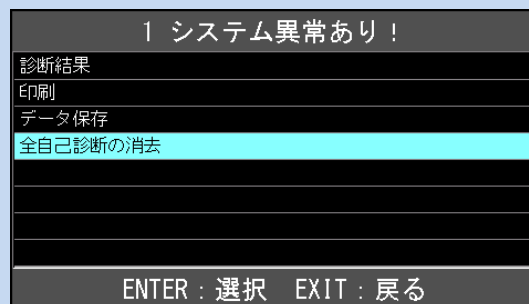
個別の故障コード消去方法

1	<p>[故障コードの消去]を選択して[ENTER]ボタンを押します。</p>	
2	<p>「故障コードの消去」画面が表示されますので、実行する場合は[ENTER]、中止の場合は[EXIT]ボタンを押します。</p>	
3	<p>故障コードの消去が始まります。</p>	
4	<p>消去が完了すると、「消去完了」の画面が表示されます。 [EXIT]ボタンを押して戻ります。</p>	

全自己診断の故障コード消去

1

全ての故障コードを一度に消去するには[全自己診断の消去]を選択して[ENTER]ボタンを押します。



2

「全自己診断の消去」画面が表示されますので、実行する場合は[ENTER]、中止の場合は[EXIT]ボタンを押します。



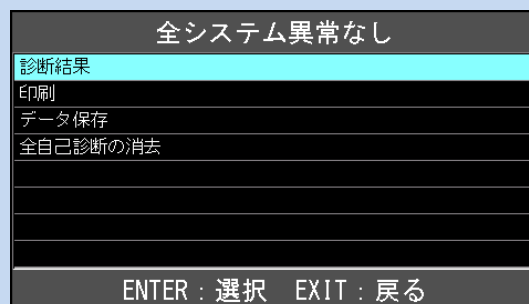
3

「全自己診断の消去」は自動で故障コードをシステム別に消去していきます。



4

消去が完了すると、画面が戻ります。



2-7 データモニタの表示方法

データモニタ（実測値）の表示方法

1

システムのメインメニューから[データモニタ]を選択して[ENTER]ボタンを押します。



2

「表示項目選択」画面が表示されます。

全項目にチェックが入った状態で表示されます。
[開始]ボタンが選択されている状態で[ENTER]ボタンを押すとチェックが入っているすべての項目が表示されます。

- ・ 選択 :
- ・ 解除 :



データ項目の表示・非表示の変更は[選択・解除][すべて選択][すべて解除]ボタンを使用します。
チェックの有無で確認できます。

- [選択・解除] → 1項目ずつ変更できます。
- [すべて選択] → すべての項目が選択されます。
- [すべて解除] → すべての項目が解除されます。

1項目ずつ変更する場合は、左右ボタンで [選択・解除] にカーソルを合わせてから上下ボタンで変更したい項目に合わせて[ENTER]ボタンを押します。
チェックが外れ選択が解除されます。もう一度押すとチェックが入り選択されます。



3

「表示項目選択」画面で選択した項目が表示されます。

[上下]ボタンで 1項目ずつ表示がスクロールします。
また、画面下左右の[▲ ▼]ボタンでページの移動ができます。

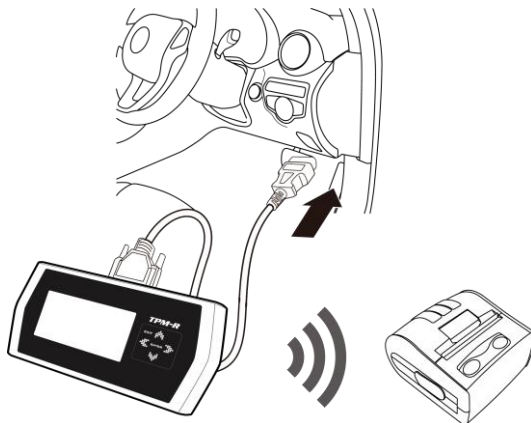


2-8 印刷方法

Bluetooth プリンターをはじめて使用する場合は、以下の手順で本体に登録する必要があります。

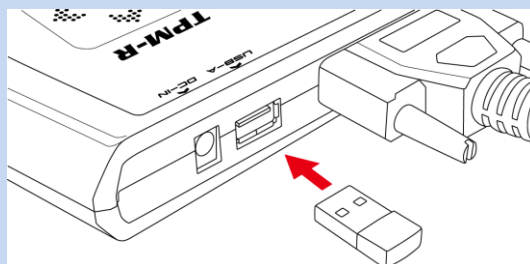
Bluetooth プリンター（BLM-80MF）の初期登録方法

[接続図]



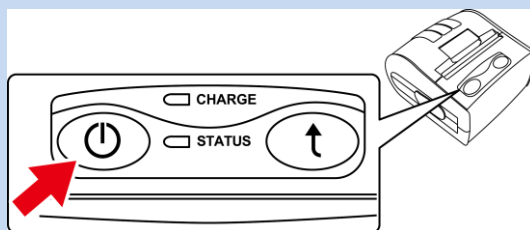
1

TPM-R を車両に接続します。
TPM-R に付属の Bluetooth USB アダプターを挿します。



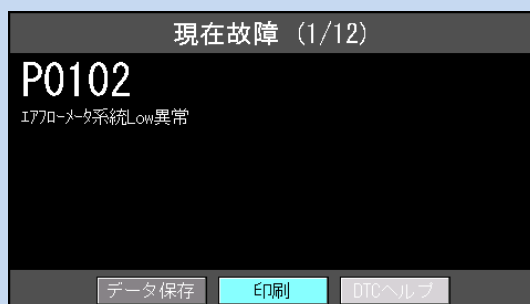
2

Bluetooth プリンターの電源 (⏻) を ON にします。



3

印刷可能な画面では[印刷]ボタンが表示されます。カーソルを印刷に合わせて[ENTER]ボタンを押します。



2. 基本的な操作

<p>4</p> <p>TPM-R がプリンターの検索を開始します。 ※検索には少し時間がかかります。</p>	
<p>5</p> <p>プリンターが検出されましたら[ENTER]ボタンを押して下さい。 プリンターが登録されます。 ※一度登録されると、次回からプリンター選択画面は表示されません。</p>	
<p>6</p> <p>接続が開始され、その後印刷されます。</p>	
<p>接続エラー</p> <p>接続エラーが表示された場合は「再接続」を選択して[ENTER]ボタンを押して下さい。</p>	

全自己診断の印刷

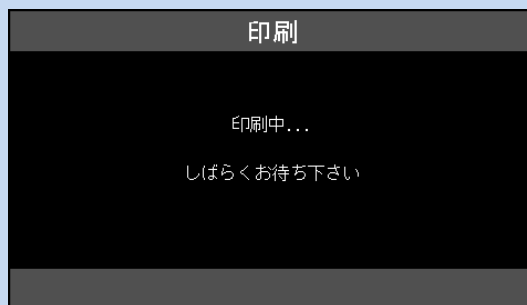
1

車両の全システムと通信を行った後、[印刷]を選択して[ENTER]ボタンを押します。



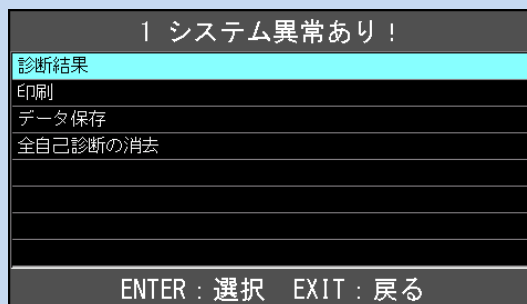
2

印刷が開始されると、「印刷中 しばらくお待ち下さい」の画面が表示されます。



3

印刷が終了すると前の画面まで戻ります。



2-9 印刷オプション（会社名等の印刷）

オプションのプリンターを使用して故障コードやデータを印刷する際、会社名、住所、電話番号などを一緒に印刷する事ができます。

会社情報の入力

1

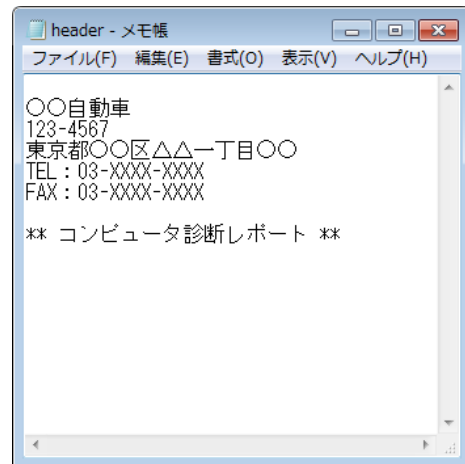
パソコンにてSDカード内容を表示し、「Header.txt」を表示させます。



「Header.txt」の内容を右の画像を参考に更新してください。

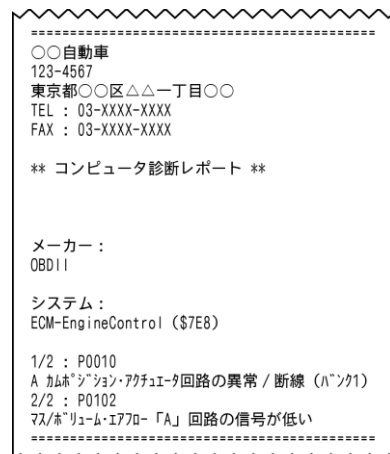
※必ずしも会社情報である必要はございません。印刷内容は自由に決めて頂けます。

2



印刷時に追加・変更した内容が印刷されます。

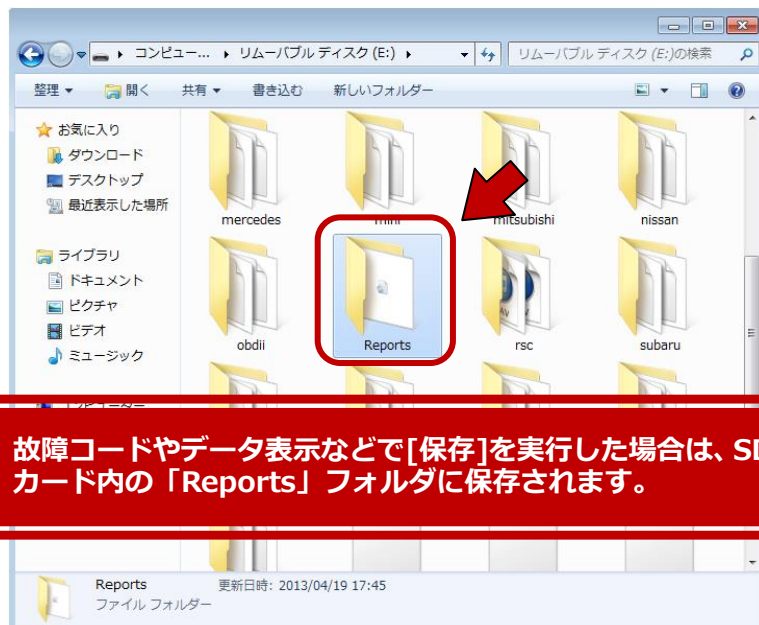
3



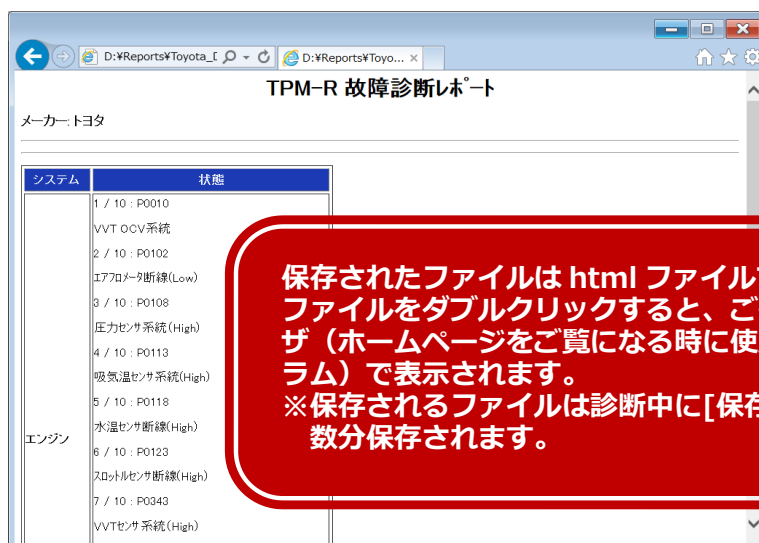
2-10 保存について

保存されたファイルはパソコンで読み込んで表示することができます。

1



2



「Reports」フォルダ内にファイルが増えてくると保存ができなくなります。
 保存ファイルは、その都度パソコンに移動されることをお勧め致します。

2-11 作業サポート

部品交換後の学習や整備モード移行、DPF 強制燃焼などの作業サポートが行えます。

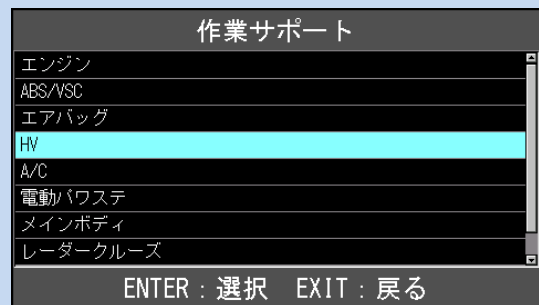
1

メーカー診断ソフトから「作業サポート」を選択して [ENTER] ボタンを押します。



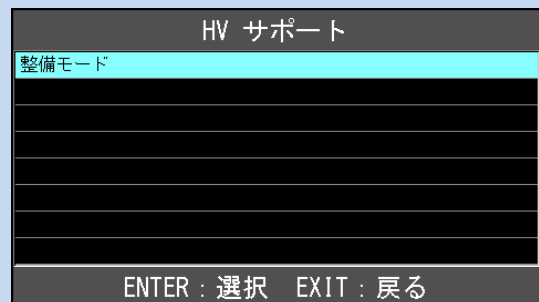
2

診断車両の作業サポート対応システムが表示されます。
作業サポートを実施するシステムを選択して [ENTER] ボタンを押します。



3

選択したシステムのサポート項目が表示されます。
選択して [ENTER] ボタンを押します。



作業サポートの手順は、製造元発行の車両サービスマニュアル（整備書）を参照してください。
誤った使い方により、車両に不具合が発生する可能性があります。

3.初期設定

3-1 言語の設定

「設定」メニューでは、本体の各種設定が変更できます。

表示言語の設定が行えます。

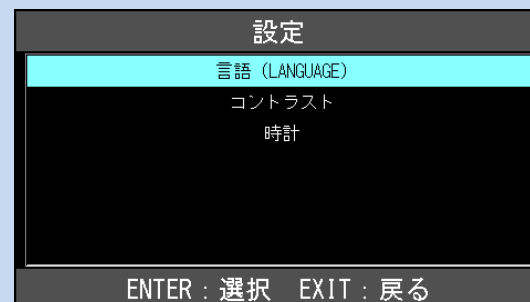
1

スタート画面で「設定」を選択して[ENTER] ボタンを押します。



2

カーソルを「言語」に合せ [ENTER] ボタンを押します。



3

[上下]ボタンで選択して[ENTER] ボタンを押して確定します。
選択できる言語は「日本語」「英語」「ロシア語」です。



3-2 コントラストの調整方法

液晶画面の輝度調整を行えます。

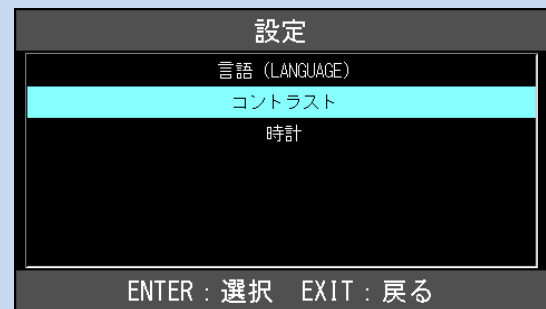
1

スタート画面で「設定」を選択して[ENTER] ボタンを押します。



2

カーソルを「コントラスト」に合せ [ENTER] ボタンを押します。



3

[上下] ボタンで 10% ずつ、[左右] ボタンで 1% ずつ変更できます。
変更が完了しましたら[ENTER] ボタンを押して確定します。



3-3 時計の調整方法

時計の設定を行います。

1

スタート画面で「設定」を選択して[ENTER] ボタンを押します。



2

カーソルを「時計」に合せ [ENTER] ボタンを押します。



3

変更したい日付に黒いカーソルを移動して[上下] ボタンで変更します。

変更が完了しましたら[ENTER] ボタンを押して確定します。



3-4 本体 ID の確認方法

本体情報を表示します。

1

スタート画面で「本体 ID」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



2

「本体 ID」画面に以下の内容が表示されます。

- ・本体シリアル番号
- ・OSバージョン
- ・ダウンロード期間
- ・本体保障期間



4.診断ソフトのバージョンアップ方法

診断ソフトのアップデートは「TPM-R アップデート」を起動して行います。

4-1 「TPM-R アップデートプログラム」の起動

本体から SD カードを抜き取り、パソコンへ接続します。
起動方法の詳細は「1-3 ユーザー登録」(6 ページ) の項目で確認してください。

4-2 アップデート方法

アップデートのチェック

ユーザー登録が完了している場合は、そのまま[アップデート チェック]をクリックします。

1



注意

アップデートが進まない場合は以下の項目を確認してください。

- ・インターネット接続は正常か。
- ・セキュリティソフトでブロックされていないか。⇒ セキュリティソフトのメーカーにお問い合わせください。
- ・社内ネットワークでブロックされていないか。
- ・しばらくアップデートを行わずに時間があいていないか。⇒本書の P47「SD 内にアップデート用プログラムが無いまたは、アップデートプログラムが古い場合」を参照してください。

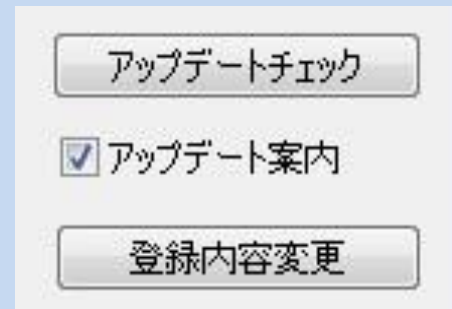
4. 診断ソフトのバージョンアップ方法

<p>2</p>	<p>アップデートソフトがある場合は自動的にダウンロードしてSDカードへ書き込みを開始します。</p>	
<p>3</p>	<p>アップデートが完了すると、「アップデート完了」のメッセージが表示されますので、[OK]ボタンをクリックします。</p>	
<p>4</p>	<p>[終了]ボタンをクリックして終了します。</p>	
<p>5</p>	<p>「現在のソフトは最新です。」と表示された場合はすでに最新ソフトにアップデートされています。[OK]をクリックして「TPM-R アップデート」プログラムを終了して、SDカードを本体に戻して下さい。</p>	

4-3 アップデート案内

「TPM-R アップデート」でアップデート案内を希望される場合は、ソフトの[アップデート案内]のチェックボックスにチェックを入れてください。
ソフトのアップデートがあった場合に、登録メールアドレスへ案内メールが届くようになります。
案内が必要ない場合は、チェックを外してください。

メールアドレスが変更された場合は [登録内容変更] からメールアドレスを変更してください。
本書の P13 (ユーザー登録内容の変更) を参照してください。



アップデートチェック

アップデート案内

登録内容変更

5.トラブルシューティング

5-1 SD カードについて

SD カードについて

SD カードには書き込み禁止用のロック機能があり、右のようにスイッチで切り替えができるようになっています。

スイッチが「LOCK」と書いてある方に移動している場合は書き込み禁止になっていますので、保存やアップデート時にファイルの書き込みができません。

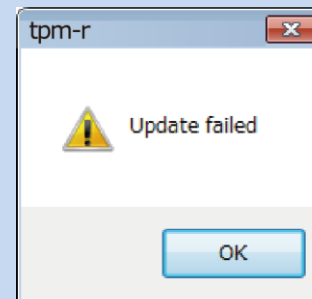
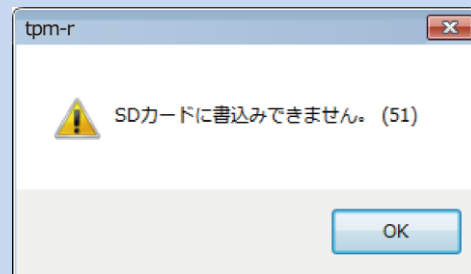
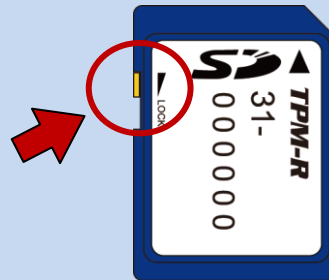
この項では、書き込み禁止のスイッチが「LOCK」になっていないにも関わらずアップデート等ができない場合についてご説明します。



パソコンの OS やインストールされているソフトについて以下の内容も確認して下さい。

- ・ご使用のパソコンの設定で SD カードへの書き込みが禁止されている。
- ・セキュリティソフトで SD カードへの書き込みが禁止されている。
- ・SD カード内部のファイルが破損している。⇒ 本書の P42「SD カードのフォーマット」を参照してください。
- ・SD カードをパソコンの OS が認識していない

※パソコンの設定やセキュリティソフトの設定はパソコンの管理者またはセキュリティソフトのメーカーへお問い合わせください。



SD カードのフォーマット（例：Windows 8/8.1 の場合）



SD カードに書き込みが出来ない場合に SD カードをフォーマットすることにより、正常に書き込みが出来るようになります。

この作業は先に必要なファイルをパソコンにバックアップ（保存）した後に作業を行います。

1

SD カード（リムーバブルディスク）を接続すると、自動再生の設定が“ON”の状態の場合、画面右上に通知が表示されますので、タップまたはクリックします。

※右の画面が表示されない場合には本書の 10 ページ（自動再生が出来ない場合）をご参照ください。




リムーバブルディスク (F:)
タップして、リムーバブルドライブに対して行う操作を選んでください。

2

実行する操作の欄に「フォルダーを開いてファイルを表示」が表示されますので、タップまたはクリックします。

リムーバブル ディスク (F:)

リムーバブルドライブ に対して行う操作を選んでください。

-  バックアップ用にこのドライブを構成
ファイル履歴
-  フォルダを開いてファイルを表示
エクスプローラー
-  何もしない

3

ウィンドウが表示され、SD カードの内容が表示されます。

画像を参考に以下のファイルをコピーします。

- ・tpm-r (tpm-r.exe) (アプリケーション)
- ・pass (pass.ini) (構成設定ファイル)
- ・header (header.txt) (テキストドキュメント)
- ・Reports (フォルダ)

※Reports フォルダは、故障コードやデータ表示などで[保存]を実行した場合にファイルが保存されているフォルダです。保存していなければコピーする必要はありません。

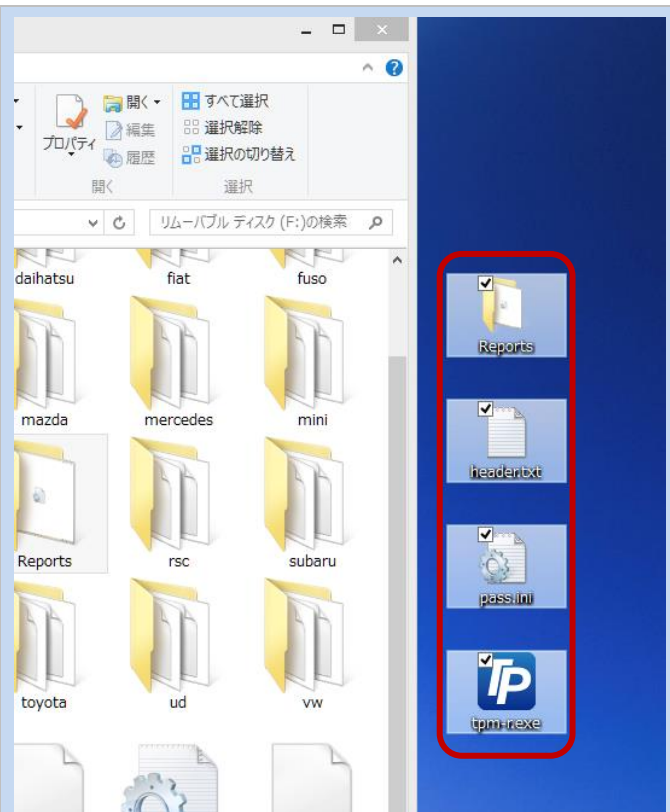
ファイル/フォルダを右クリックしてコピー
→コピー先で右クリックして貼付けます。
または、選択したままコピー先へドラッグします。



5. トラブルシューティング

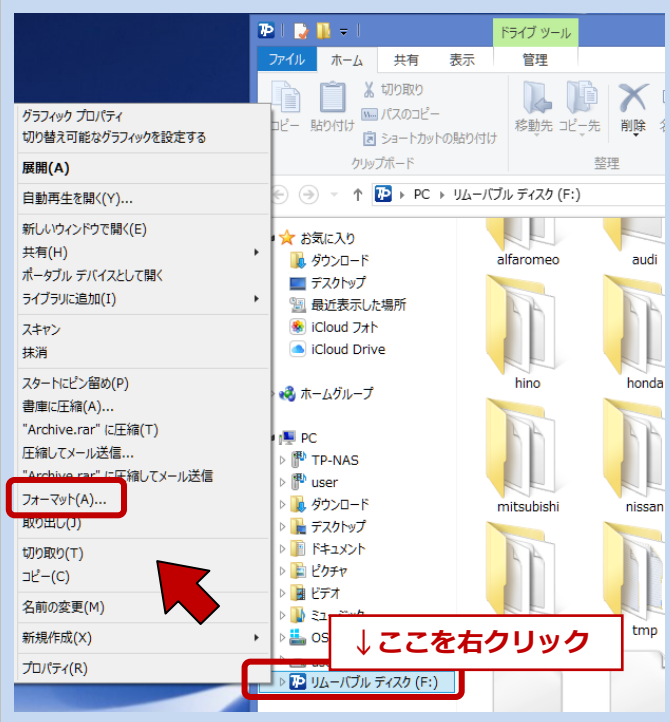
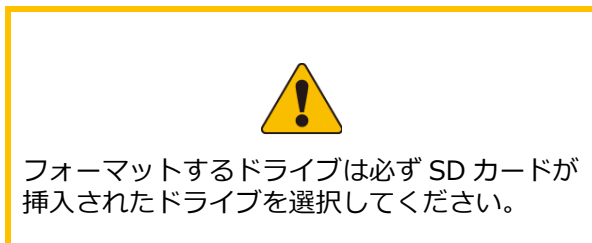
4


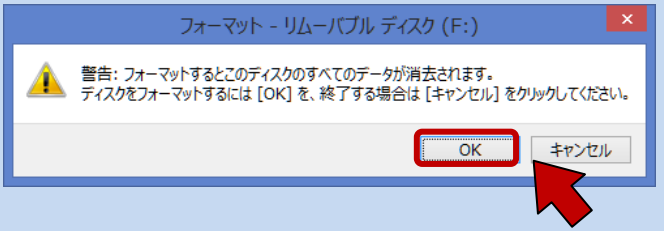
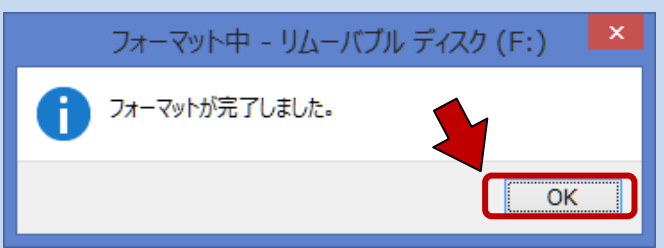
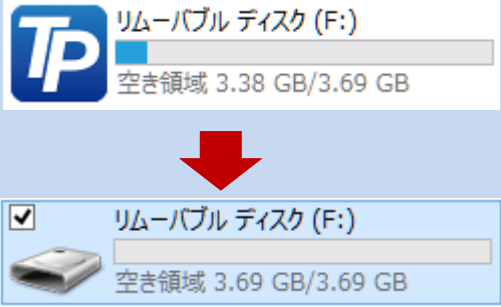
パソコンへ必要なファイルのバックアップ（保存）が完了しました。



5

バックアップが完了したら、SD カードのフォーマットを開始します。
リムーバブルディスクを**右クリック**してフォーマットをクリックします。

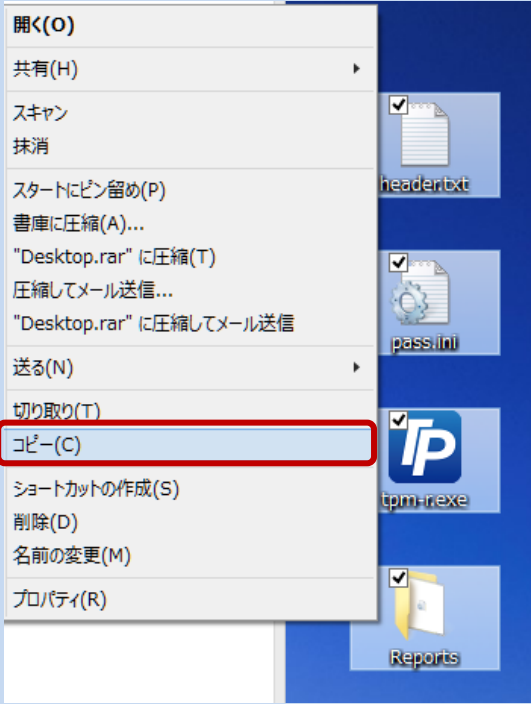


<p>6</p> <p>フォーマットの画面が表示されます。 SD カードが挿入されたドライブか再度確認して [開始]をクリックします。</p>	 <p>フォーマット - リムーバブル ディスク (F:)</p> <p>容量(P): 3.70 GB</p> <p>ファイル システム(E) FAT32 (既定)</p> <p>アロケーション ユニット サイズ(A) 32 キロバイト</p> <p>デバイスの既定値を復元する(D)</p> <p>ボリューム ラベル(L)</p> <p>フォーマット オプション(O)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> クイック フォーマット(Q)</p> <p><input type="checkbox"/> MS-DOS の起動ディスクを作成する(M)</p> <p>開始(S) 閉じる(C)</p>
<p>7</p> <p>フォーマットの確認メッセージが表示されますので、確認後[OK]ボタンをクリックします。</p>	 <p>フォーマット - リムーバブル ディスク (F:)</p> <p>警告: フォーマットするとこのディスクのすべてのデータが消去されます。 ディスクをフォーマットするには [OK] を、終了する場合は [キャンセル] をクリックしてください。</p> <p>OK キャンセル</p>
<p>8</p> <p>フォーマットが完了すると右のウィンドウが表示されます。 [OK]ボタンをクリックして終了します。</p>	 <p>フォーマット中 - リムーバブル ディスク (F:)</p> <p>フォーマットが完了しました。</p> <p>OK</p>
<p>9</p> <p>フォーマットが完了すると「リムーバブルディスク」のアイコンが通常のアイコンにかわります。</p>	 <p>リムーバブル ディスク (F:)</p> <p>空き領域 3.38 GB/3.69 GB</p> <p>リムーバブル ディスク (F:)</p> <p>空き領域 3.69 GB/3.69 GB</p>

5. トラブルシューティング

10

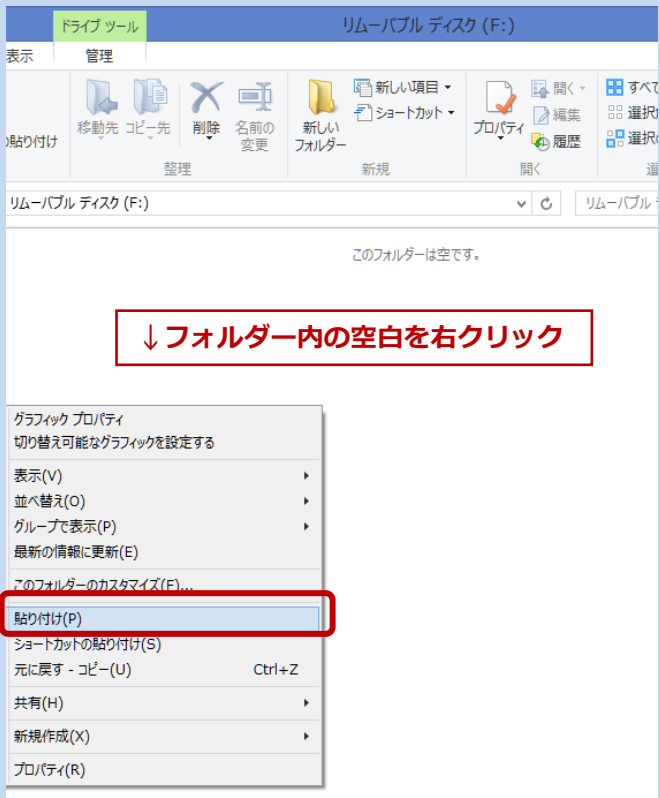
先程バックアップ（保存）した4つのファイルを右クリックしてコピーします。



The screenshot shows a Windows desktop with a context menu open over a file. The menu items are: 開く(O), 共有(H), スキャン, 抹消, スタートにピン留め(P), 書庫に圧縮(A)..., "Desktop.rar" に圧縮(T), 圧縮してメール送信..., "Desktop.rar" に圧縮してメール送信, 送る(N), 切り取り(T), **コピー(C)** (highlighted with a red box), ショートカットの作成(S), 削除(D), 名前の変更(M), and プロパティ(R). The background shows several desktop icons: header.txt, pass.ini, tpm-rexe, and Reports.

11

フォーマットが完了したリムーバブルディスクに右クリックしてファイルを貼り付けます。

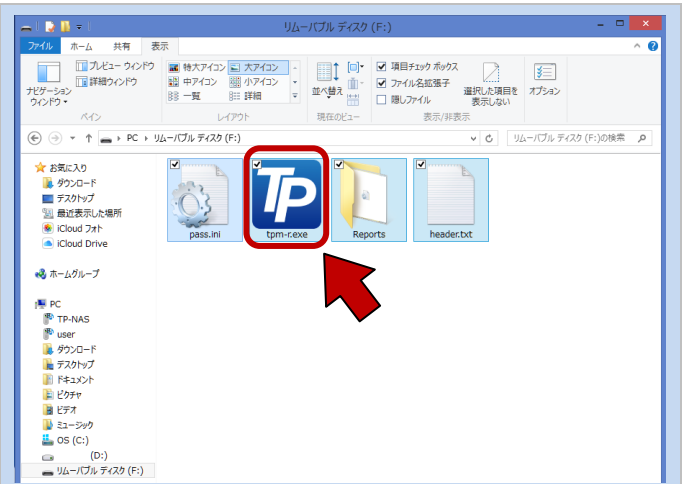


The screenshot shows a Windows File Explorer window for a removable disk (F:). The ribbon includes 'ドライブ ツール' and '管理'. The main area is empty with the text 'このフォルダーは空です。'. A red box with the text '↓フォルダー内の空白を右クリック' points to the empty space. A context menu is open, with '貼り付け(P)' highlighted by a red box. Other menu items include: グラフィック プロパティ, 切り替え可能なグラフィックを設定する, 表示(V), 並べ替え(O), グループで表示(P), 最新の情報に更新(E), このフォルダーのカスタマイズ(F)..., ショートカットの貼り付け(S), 元に戻す - コピー(U) (Ctrl+Z), 共有(H), 新規作成(X), and プロパティ(R).

12

「リムーバブルディスク」に4つのファイルを貼り付けましたら、「tpm-r (tpm-r.exe)」をダブルクリックして起動します。

この後の作業は本書の P38 「4. 診断ソフトのバージョンアップ方法」を参考にアップデートを行って下さい。



5. トラブルシューティング

SD 内にアップデート用プログラムが無いまたは、アップデートプログラムが古い場合

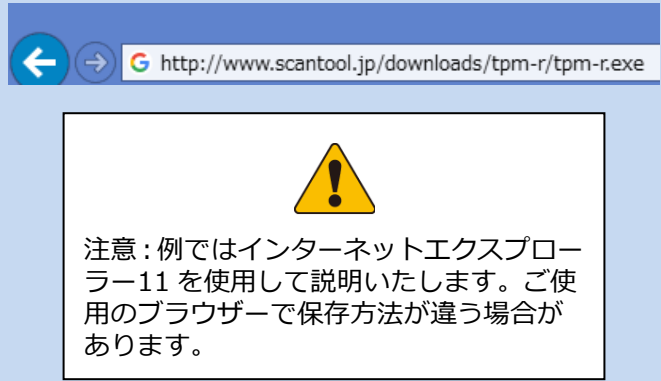
1

SD カード内のアップデートプログラムが無くなった場合やアップデートを実行しようとしたときに「再試行してください。」または、有効期限がまだ切れていないにも関わらず「期限が切れています。」などエラーが表示された場合はアップデートプログラムを手動で更新していただくことで、アップデートが可能になる場合があります。

以下の手順でアップデートプログラムをダウンロードしてアップデートを行ってください。

ご使用のブラウザを起動してアドレスバーに下記アドレスを入力した後にキーボードの[ENTER]キーを押して下さい。

<http://www.scantool.jp/downloads/tpm-r/tpm-r.exe>



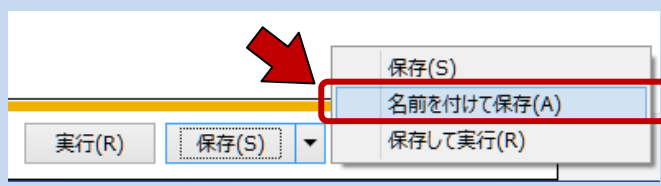
2

ダウンロードするファイルに対する操作が画面下に表示されますので、保存の右にある▼をクリックします。



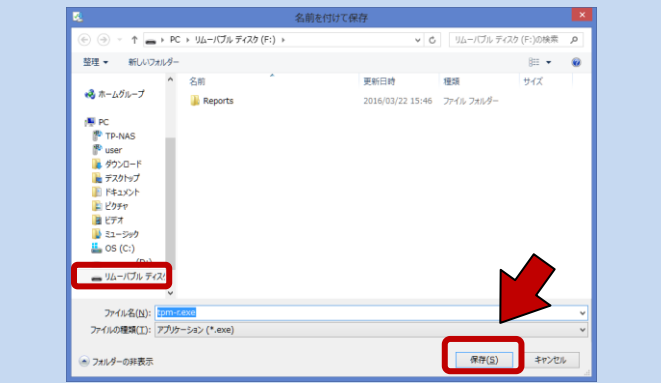
3

▼をクリックするとメニューが表示されますので、[名前をつけて保存]をクリックします。



4

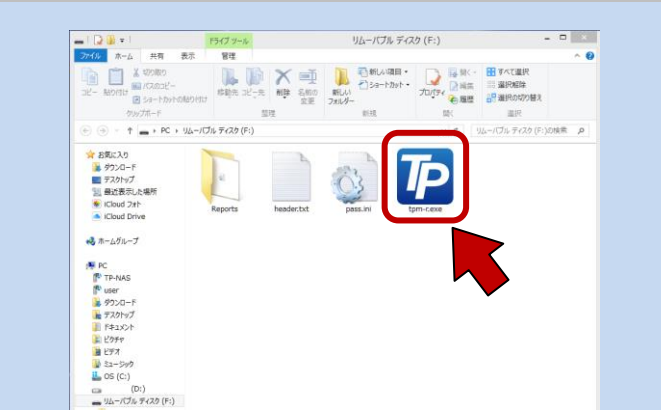
「名前をつけて保存」の画面が表示されますので、保存場所をリムーバブルディスク (SD カード) に変更して[保存]をクリックします。



5

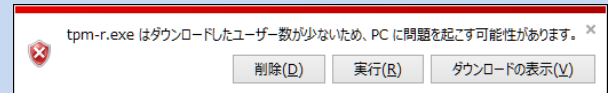
保存が完了しましたら、「tpm-r (tpm-r.exe)」をダブルクリックして起動します。

この後の作業は本書の P38「4. 診断ソフトのバージョンアップ方法」を参考にアップデートを行ってください。



エラーメッセージが表示される場合は、ブラウザの設定から「セーフティ」→「SmartScreen フィルター機能を無効にする」へ変更するなどしてからダウンロードしてください。

右のようなエラーメッセージが表示されてもダウンロードされている場合もありますので、保存先を確認してください。



6.製品仕様

使用条件	仕様
温度	動作温度：約 0℃から 40℃ 保管温度：約-20℃から 50℃まで
相対湿度	動作湿度：約 40℃の温度で 15%から 95%まで（結露なきこと） 保管湿度：約 50℃の温度で 90%（結露なきこと）

7.保証

・TPM-R は、お客様がインターネットを使用してユーザー登録した日を開始日として 12 ヶ月間にわたり、材料と製造上の欠陥に対し保証されています。但し、保証期間はインターネットを使用して、正しくユーザー登録されている場合にのみ有効です。

・保障対象は本体のみです。SD カードやケーブルなどの付属品は保証対象外です。

・保証期間内に正常な使用状態での使用にて故障した場合は、無償修理いたします。

・火災、天災による故障の場合は保証外となります。

・本保証は、乱用、改造、あるいは意図された用途以外の目的に使用されたり、使用方法に関する取扱説明書に一致しない方法で使用されていたいかなる部品に対しても適用されません。これには本製品に使われているあらゆるネジの取り外しが含まれます。（ただし、それに限定されるものではありません）

・原則的に本製品は現品修理となります。

・お買い上げになりました TPM-R 本体、SD カード、ケーブル、アダプタを修理のために送付しなければならない場合の往復運賃はお客様の負担となります。

7-1 保証期間

1 年間

7-2 保証の延長

1 年目以降ソフトのアップデート期間を延長された場合は保証も自動に延長されます。

※但し、1 ヶ月以内に延長申込をされた場合に限りです。

8.お問い合わせ先

製品の取り扱いに関するお問い合わせ並びに診断不可車両がございましたら自動車検査証など自動車の情報が分かるものをご用意の上、お買い上げの販売店までご連絡ください。

なお、故障コードに対する修理方法等は、返答しかねますので、車の修理書等をご覧頂く様、予めご了承願います。

発売元

株式会社ツールプラネット

〒500-8122

岐阜県岐阜市旭見ヶ池町 43-2

